

湧佐地区安全衛生協会と合同で事業場の安全巡視を行いました

北見労働基準監督署(署長 吾子勇二)は、11月17日、湧佐地区安全衛生協会と合同で管内の畜産事業場への安全巡視を行いました。

湧佐地区安全衛生協会は、労働基準法、労働安全衛生法関係の普及、指導や、労働災害防止団体等との連絡調整等を目的に設立され、令和7年5月に開催された定時総会で74回目を迎えられました。主な年間活動は、湧別町と佐呂間町にある43の事業場を対象にして、5月と3月に労働安全、交通事故防止等の講習会を開催され、湧佐協会たよりを毎月発行・配布され、建設業労働災害防止協会北見分会と合同で工事現場の安全パトロールを実施されている他、会員事業場の工場等を対象にした事業場巡視を開催されておられます。また、管内の労働災害防止団体等が開催する労務管理講習会、安全・衛生大会などに担当者を派遣されるなど、より安全で働きやすい労働環境のため、積極的な活動を行っておられます。

工場等への安全巡視は今年度で3回目となりました。



北見労働基準監督署長、湧佐地区安全衛生協議会の会長、副会長、事務局長が参加いたしました。(事業場巡視の打ち合わせの様子を撮影いたしました。)

